

令和5年度校内研修計画

佐世保市立広田小学校

1 研修の目的

本校児童の実態をもとに、学校・家庭・地域社会の要請をふまえ、指導内容や指導方法の工夫・改善に努め、教師としての資質向上を図る。

2 研修にあたって

- 学校教育目標の達成を目指し、職員間の共通理解を図り、共に研究する態度を持ち続ける。
- 自らの教養を高め、常に教育者としての使命感をもち、互いに刺激し合いながら子どもと共に探究する教師集団をつくる。

3 校内研修

(1) 研究主題

進んで表現し、認め合い磨き合う児童の育成
～学級力を可視化し、課題を見つけ、主体的に解決する活動を通して～

(2) 主題設定の理由

①本校児童の実態から

本校では、i-checkの結果から、対人ストレスの項目における課題が見られる。このことが、安心して表現することや学習意欲に対する阻害要因になっていると考える。

②学校目標との関連から

学校教育目標

「本物の笑顔」かがやく広田小
やさしく かしく たくましい子どもの育成

上記の学校教育目標を具現化するために、次の3点が必要であると考えます。

- ① 支持的風土の醸成による、すべての児童が安心して過ごすことができる学級づくり
- ② 子どもたちが自発的に考え、自治的活動できる環境づくり
- ③ 豊かな経験と失敗を学びに変え、次につなげる機会の充実

児童が心から笑顔になれる時、そこには「いきいきと自己実現できる環境」がある。望ましい人間関係や、安心できる学級環境の中で、主体的に学びに向かう時、目標の実現に向けて努力する時、夢を実現することができた時、子どもたちの笑顔は心から輝くと考える。そのような、「いきいきと自己実現できる環境」には、相手への温かな思いやりの気持ちや優しさをもち、互いに認め合い支え合って生活していこうとする学級風土の醸成が必要である。その上で、自分たちの学級や自分自身をしっかりと見つめ、課題を見つけ、さらによいものに変えて行こうと試行錯誤することや、試行錯誤の中で、互いの意見を交わし合い、違いを認め、折り合いをつけ、よりよいものを探し創り出すことなど、その繰り返しが、質の高い自己実現を可能にし、子どもたちの心からの笑顔につながっていくだろうと考える。

③特別活動の特性から

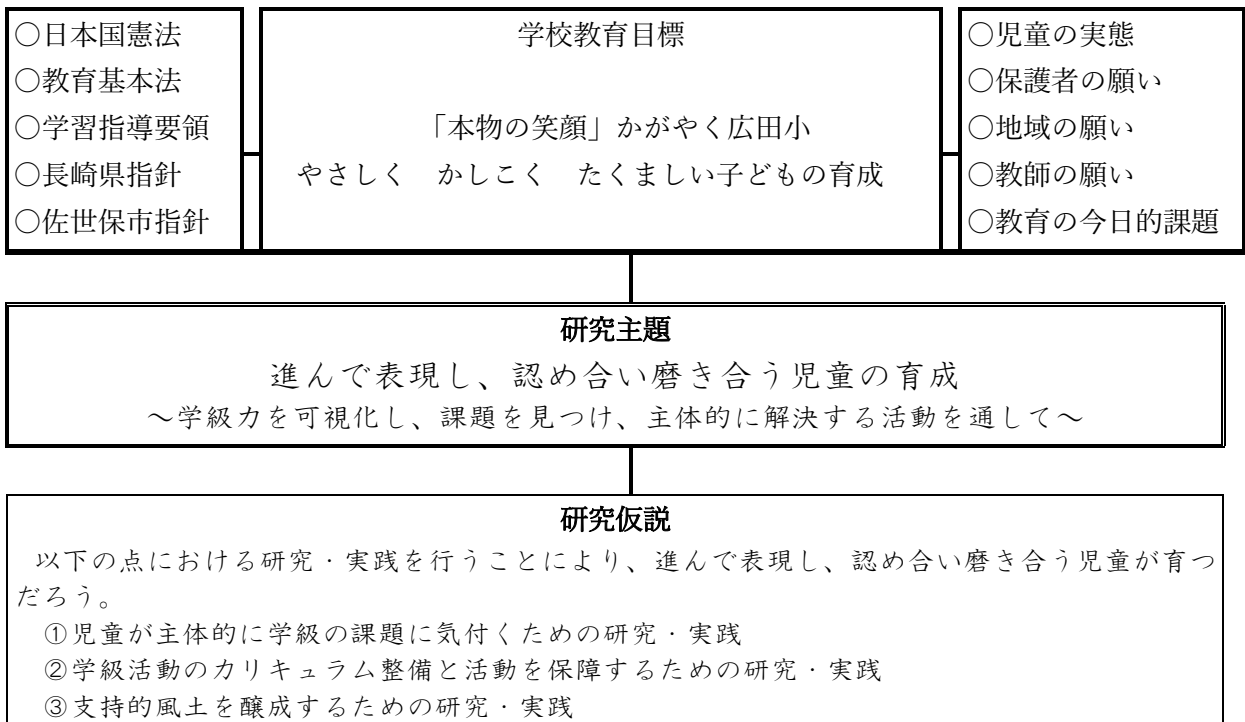
特別活動の充実を図ることは、まさしく、望ましい学級集団を作り、質の高い自己実現を目指そうとする児童の育成につながる。他者と関わり合って「やさしさ」を育み、課題をよりよく解決していこうとする中で「かしこさ」を身に付け、失敗を次に活かしていこうとする「たくましさ」を育てることができる。本校の学校教育目標を実現していくために、特別活動に力を入れていくことは必要不可欠であると考えている。

④他教科、領域との関連

学級が安定し、互いを認め合える環境を育むことによって、児童はさまざまな学習場面において、安心して自分の思いや考えを表現することができるようになると思う。(1)の項目にある本校の実態に見られたように、望ましい学級環境の醸成が学習意欲の向上につながるであろうことをふまえると、この自分の考えを進んで表現しようとする思いが、児童の主体的な学びにつながり、活発な対話的活動を生み、より深い学びへとつながっていくと考える。学級の土台を整えることで、児童の学力の向上につなげ、自己実現を目指す中で生きて働く力となるようにしたい。

このような背景に鑑みた結果、本校では上記のような研究主題を設定し、研究を推進していくことにした。

(3) 校内研究全体構想



(4) 研究内容

- ①児童が主体的に学級の課題に気付くための研究・実践
 - ・学級力を意識化するための取り組み
 - ・学級力を可視化するための取り組み
- ②学級活動のカリキュラム整備と活動を保障するための研究・実践
 - ・本校の実態に合わせたカリキュラムの整備
 - ・月1回の学級力連絡会の実施
- ③支持的風土を醸成するための研究・実践
 - ・朝の活動の意図的・計画的な実践
 - ・全教育活動における横断的な取り組み